

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年2月18日(2010.2.18)

【公表番号】特表2009-525148(P2009-525148A)

【公表日】平成21年7月9日(2009.7.9)

【年通号数】公開・登録公報2009-027

【出願番号】特願2008-553436(P2008-553436)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/44 (2006.01)

A 6 1 L 27/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/44

A 6 1 L 27/00 L

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月18日(2009.12.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

上方及び下方椎骨に関節運動を提供するために上方椎骨と下方椎骨との間に画定される椎間空間に配置するための人工関節装置であって、

少なくとも部分的に前記椎間空間に配置されるよう構成する上方関節部と、

少なくとも部分的に前記上方関節部の下方の前記椎間空間に配置される下方関節部とを備え、

前記上方及び前記下方関節部は、前記上方椎骨及び前記下方椎骨に対して関節運動を提供するように構成され、

前記上方及び前記下方関節部は、それぞれ、前記椎間空間の背中側の位置に配置されるよう構成される背面部を備え、

前記上方及び下方関節部のうちの一方の背面部は支柱を備え、

前記上方及び下方関節部のうちの他方の背面部は、関節運動中に前記支柱と相互作用するよう構成される受容部を備える、人工関節装置。

【請求項2】

上方椎骨と下方椎骨との間に画定される椎間空間に埋植し、前記上方椎骨及び下方椎骨に関節運動を提供するための人工関節装置であって、

少なくとも部分的に前記椎間空間に配置されるよう構成される上方関節部と、

少なくとも部分的に前記上方関節部の下方の前記椎間空間に配置される下方関節部であって、前記上方及び下方関節部が前記上方椎骨及び前記下方椎骨に対して関節運動を提供するように構成される、下方関節部と、

前記上方関節部及び前記下方関節部のうちの少なくとも1つに伴う少なくとも1つの接続穴と

を含んでなり、

前記上方関節部及び前記下方関節部のうちの前記少なくとも1つは縦中心線を画定し、前記少なくとも1つの接続穴は前記縦中心線に沿って位置合わせされる、人工関節装置。

【請求項3】

上方椎骨と下方椎骨との間に画定される椎間空間に配置され、前記上方椎骨及び下方椎

骨に関節運動を提供する関節置換装置であって、

第1の関節置換装置と、

第2の関節置換装置を含んでなり、

前記第1及び第2の関節置換装置はそれぞれ、少なくとも部分的に前記椎間空間に配置されるように構成される上方関節装置と、

前記上方関節部の下方の椎間空間に少なくとも部分的に配置されるように構成される下方関節装置と

を備え、前記上方及び下方関節部は前記上方及び下方椎骨に関節運動を提供するよう構成され、前記上方及び下方関節装置はそれぞれ中心線及び前記中心線に沿って位置合わせされるネジ受け部を有する、関節置換装置。